



巻 頭 言

10周年記念行事を開催しました

副会長 佐藤 文保

第1回言語聴覚士国家試験が実施された平成11年9月に、現在、県士会相談役の久保健彦先生の呼びかけで結成されたこの会も、今年で10周年を迎えることができました。

福岡県言語聴覚士会では、10周年を迎えるにあたり、9月5日の「言語聴覚の日」に、10周年記念行事として、講演会と10周年記念パーティーを開催いたしました。

「言語聴覚の日」講演会では遠藤尚志先生をお招きし、「失語症の障害にわたるケア」と題して講演をいただきました。当日会場となったエルガーホールには、各地区の失語症友の会の方をはじめ、一般市民の方、さらには医療や福祉に関連した職種の方など、総勢〇〇〇名が参加され、失語症の基礎知識や失語症の人との会話の方法について、実際の患者さんの映像をみながら、わかりやすく講演していただきました。参加された失語症の方やその家族の方の中には「遠藤先生の話が聞いて良かった」と帰られる方も多く、遠藤尚志先生の言語聴覚士としての存在感を改めて感じさせられた講演会でした。

失語症については、世間一般に認識されているかということ、未だそこまでには至っていません。今回の講演会を通して、一般の方にも失語症を取り巻く問題点や言語聴覚士の役割について、知っていただけたのではないかと思います。

10周年記念パーティーは「言語聴覚の日」講演会終了後、天神の平和楼で開催いたしました。パーティーには、行政や福祉・保健関連団体、医療関連団体、さらには、障がい者家族会、専門学校などの教育施設、協賛企業の方々をお招きし、総勢〇〇名の方々と、10周年を祝うことができました。

この10年を振り返ると、福岡県言語聴覚士会も随分成長したように思います。そこには、今回参列していただいた、会員や患者さん、さらには、さまざまな組織や団体の支えがあったからだと思います。これから先、少子高齢社会が進む中、言語聴覚士の役割は益々重要になってきています。これからも、障がいを持った方々を取り巻く、さまざまな組織や団体と関係を深めながら、もっと言語聴覚士の役割をアピールし、社会の中で、さらに言語聴覚士が認知されるような活動を福岡県言語聴覚士会では進めていければと思っています。

パーティーのアトラクションでは、ダウン症など知的ハンディのある7人の子どもたちで結成された音楽バンド、ピュアハート(The Pure Heart)のみなさんにPureな演奏を披露していただき、心の扉を開かせてもらいました。

福岡県言語聴覚士会の10周年行事にご協力いただいた方には、深く感謝いたします。

